



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、今日原爆先生の特別授業を受けて先生が爆心地で救助隊員  
 として兵隊の方のこ息さまといふことにおける手紙、先生のお話の中の  
 「歳三上人」といふ方の話によつて、歳三上人がいかに辛く、大変な  
 思いをしていたのがよく分りました。この大変さは、こ息さまである先生が一番矢  
 でいふと思つた。そんな先生に原爆について教えていたとき、本当の意味で原爆  
 の非情さ、核兵器の恐ろしさを理解できました。先生のお話の中で僕は三  
 つのことを学びました。一つは、原爆が死者が40%を超へること。大佐のお母さんの名前  
 である「エラ、ゲイ」が落ちて来た少年といふ意味の「リトルボーイ」。その爆弾が何万人  
 もの人を殺めたといふ事実は、皮肉なものだと思います。きっと大佐のお母さんは、自分の息子に  
 大量殺人を犯してはしくならなはずです。よにもよつて、「エラ、ゲイ」が落ちて来たのは「少年」の  
 まり、大佐のこどもと考へられます。大佐と同義の原爆が何万人もの人を殺したことの衝撃を  
 受けました。二つ目は原爆が太陽より熱い、つまり太陽が地球に来たことと同じことが  
 広島で起きたといふことです。こゝまでの科学力を人間が持っていたことにおどろくとともに、  
 その科学力を戦争ではなく平和のために使えほしいと思ひました。もう一つは、原爆が「  
 昔の「広島県産業奨励館」だったこと。この施設は何の変りもな施設だったのにそれが  
 5分間の原爆投下という一瞬の出来事によつて「負の遺産」と化した。この施設は、まづいかに  
 働いていて、まづその人はこの施設で働いて生きていたはずで、このおぼ  
 「日常」と一瞬でなくなる原爆投下は、もう二度とくり返してはなさぬ」と思ひます。それは、日  
 本も同じ。唯一の破綻国として、まづることがあると思ひます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/11

まず、ぼくが思ったのは、原爆がどれほど怖いのかということです。ぼくは、この授業を受講する前は、「ただのちょっとした爆弾が広島に落ちただけ」と思っていました。けれど授業を受講したら原爆は本当に怖いものだとして初めて知りました。こう思った理由を2つ紹介します。

1つ目は、原爆についてです。原爆の表面の熱さは7000°Cで太陽の表面より1000°C熱いことを知り、しかも高さ600mだから、東京スカイツリーの頂上に太陽がきたと考えるだけで絶望しました。さらに、衝撃波の速さが音速より速いとなると原爆はこの世界にあってはいけないものだと考えました。

2つ目は、被爆者の姿です。被爆者はひふがボロボロとくずれおちて脂汁があふれて、ウジ虫がわいたりするなんて実際に見た人が1番気持ち悪いと思うけれど、聞いただけで少し気持ち悪くなりました。

このように、ぼくは原爆がどれほど怖いか知りました。そもそも、原爆が落ちるのは戦争のせいだ。だから、ウクライナVSロシアの戦争が早く終わってほしいと思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は最初原爆がどのようなものなのかよく知りませんでした。  
なので、原爆を軽く考えていました。しかし原爆先生の話を聞いて、  
とても怖くおそろしいものだ」と分かり、その時の状況が想像  
かできました。今、私たちは何事もなくくづせているけど、いつか  
同じような事がまた起こるかも知れないと思うととても怖くなり  
ました。また、他人の事のように思えなくなりました。なので、二度と  
このような事が起きてほしくないし、起こらないようにしてほ  
しいと思います。しかし、今世界では、ロシアとウクライナ  
の戦争が起きていて、たくさんの人々が亡くなっています。  
今日、お話を聞いた時、原爆で幸せになる人はほと  
んどいないと知ったので、やめてほしいと思いました。また、世  
界で戦争が起こらないようになってほしいと思いました。  
私たちが思っていて想像をしているよりも、とてもひどく、  
悲しい原爆を忘れてはいけなく、また起こっても  
いけないので、今日の特別授業の事を家族や友達な  
どいろいろな人に伝えていきたいと思いました。ま  
た、もっと原爆の事を知るために、原爆ドーム  
や資料館など、原爆の事が分かる場所  
に行ってみようと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

10/11

私は原爆先生の授業を受けて、このことは絶対に受け継いでいかなければいけないと思いました。

今回の授業では実体験をもとに書かれた本を読んでもいただきました。17歳という若さで徴兵された、よしごうの気持ち考えると、とても胸が痛くなります。ですが、それ以上に原爆で亡くな、こぼれた大勢の人々、真、黒になり助けを求めている人達は「かわりごう」という言葉では表せないと思います。そして、それは何十年という時がたつた今でも変わらない事実です。だからこそ、みんながこの事実を忘れないように知って、後に伝えていくことが大切だと考えます。

私は、広島<sup>(見た)</sup>の原爆ドームにまだ行ったことがありません。5年生の時に一度原爆を題材にした物語を読んだことがあります。(授業で)その物語の中に原爆ドームが出てきました。その時から一度は行<sup>(見て)</sup>てみたいと思、ていました。今回、池田さんの話を聞いてさらに原爆について知るために、原爆ドームや原爆資料館に行、てみたいと思いました。そして、原爆のことも後に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私が原爆先生の授業をうけて知ったことは3つあります。1つ目は原子爆弾の温度は約7000°度近くもあるということです。前からすごく高い温度だとは知っていたけれど、それも1000度いかにないくらいだと思っていたので、太陽より1000度熱いのだということを知り、亡くなってしまう人も、生き残っていた人も、その熱を感じることは私にはできないけれど、想像もつかないくらい苦しいし、つらかったのだと分かりました。2つ目は死亡率のことです。広島の人口が35万人くらいだったのに、だいたいの人が放射能を浴びたり、実際に原爆に当たってしまったりして死亡し、5人に2人が原爆にあたって亡くなってしまったのだということにおどろきました。3つ目は広島平和記念資料館においてある模型が、体験した方にとってはきれいすぎたということです。私はその模型を写真で見たことがありました。その時でも私はすごくつらそうだと思っていたのに、もとひどいということを知り、おどろきました。今、



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/11

原爆先生の授業で、一言では伝えられないさまざまな感情がうかんできました。私は、元々広島に住んでいたのも、原爆については人一倍知っているつもりでした。しかし、今回義三さんが経馬さん、リアルでおそろしい話を聞いて、私は知っているつもりで何にも知らなかったということが分かったと同時に、とても細かく教えてくれたことで、被爆者の様子などが、その場にいたかのように頭の中で光景がうかび上がってきて、この程度じゃないと分かっている私にはこらえきれないくらいおそろしいものでした。しかし、実際はこれと比べ物にならないほどひどいな状態だったと思います。当時子どもだった方の話は聞いたことがあるけど、当時兵隊だった方の話は聞いたことがないので、被爆者を見る側の体験が聞けたのはとても貴重な経験だと思います。70年以上時間がたったことで、人々は残こくな事実を忘れてきていると思います。この事実を、怖いといっただけで終わらせるのではなく、これからにつなげることができるものです。私は実際に経験したわけではありません。しかし、被爆者の話を聞いたというのは、とても貴重な経験です。私がこれからにつなげるためには、この貴重な体験を忘れないことだと思います。他の人に伝えることはできないかもしれないけど、おそろしい事実をこれからも覚えて



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

0/11

私は、原爆のことを自主学習で調べたことがあります。その時は、原爆が落とされた時に、周りが火の海になって、その後から放射線が出てくるのかと思いましたが、今日、原爆のことを改めて深く知り、原爆を実際に受けた人、その光景を見た人がそのことを語るのには、涙を流すほど辛いことだと分かりました。

原爆を調べた時は、これほどひどく、辛いことだとは思っていませんでしたが、今回の授業で、やはり、戦争は周りの人、大勢の人たちを殺したり、辛い思いにさせたりするから絶対に行っては行けないと、改めて実感しました。今、ロシアとウクライナも戦争をしていて、ロシアがこれから核兵器を使うかもしれないと先生が言っていたから、周りの国々や、世界をまきこんで行っているから早く終戦してほしいと思いました。

改めて、原爆は、自主学習で調べたより恐ろしいことが分かりました。だから、みんな訓練はとても大切なことだと学び、これからも真剣に取り組みたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

10/11

私は、もちろん原爆を体験したり被害を受けたりしたことがあります。なので、当時の様子などあまり分かりませんでした。けれど、今日の原爆先生の授業を受けてとても苦しかったんたろうなということがよく伝わってきました。話の中では皮ふがはかれて転び落ちてしまったり、一しゅんで消えてしまったり人などの紹介がありとても辛うございました。私たちより年下の子が家族や友達を失っているということを知ってとてもおどろきました。

あともう一つ10才の男の子が姉の助けを求めたという話がありました。私たちよりも年下だけれど、とても勇気があってすごいなと思いました。この少年の姿勢は見習おうと思います。

五年生で一度だけ原爆の学習をしました。そのときにほんの一部しか見なかったけれど、実際に原爆先生の話を聞いてもっと深く知ることができました。今ウクライナとロシアが戦争をしています。ロシアは爆弾をたくさんもっているのでもうウクライナの町が灰たがけになるとウクライナから作物が輸入できなくなってしまうたり人事でないのでも心配だなと思いました。

私は今日習ったことを忘れずに心に留めて将来人生かせることがあれば生かしていきたいなと思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

19/11

・原爆があったことは知っていたけれど、話を聞いて、  
兵隊の人や、被爆者はすごくつらいことだったと思いました。  
兵隊の人が乗っているトラックに乗ろうとする被爆者。  
それは、兵隊の人にと、「助けたいのにな、助けられない」逆に、  
被爆者は「助けてほしいのに助けてもらえない」という。それぞれの思っ  
ていたことがあり、何も出来ないまま、終わってほうということか、あたと思  
うので、その時の人達は、大変だったと思います。また、原爆の落ち  
るスピードや、大きなしょうけき、そして、熱風、7000℃にもなるのは、  
太陽の表面よりも高いと、広島に設置されている水をかく  
ほ出来る所でも蒸発してしまふほどの熱風だったんだな  
と思いました。そんな中でも、かれきなどから見つけた人々を、助  
け出していた、兵隊の人達は、すごいなと思います。その時の原爆  
のしょうけき(2回あった)も、人々を苦しめていたと思いました。  
原爆によって出来る原爆雲、放射線によって、起  
こる、原爆しょう。なども、人々を苦しめていたと思います。  
また、福島第一原発は、広島原爆や長崎原爆と  
は違って、大きな被害ではなかったけど、「原爆」は、怖いなと思  
いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私が原爆先生の授業を受けて思ったことは、絶対に忘れてはいけないと思った。

今回の授業でよしろうさんのお話をしてくれました。17才という若さで軍隊に入、よしろうさんの気持ちや本当の現場を考えると、心が痛みます。だけと原爆で亡くなった人は、全身が真黒になり、生きて助けを求めてくる人は、兵隊さん...「助けて」と言ってきて、トラックに上ろうとしていた、のぼれない人のうでをたはると、つぶ、か、ポロポロにな、てすべ、ておちてしまう人もいたそうです。それか、おちることによって、つぶ、か、はかれるか、「痛い...痛い」と言っていて、私か、今こうしていまっているのは、「キセキ」と思いました。もし私か、広島で原爆にあっていたら死んでいたかもしれないからこうしていまっているのも「キセキ」だなと思、て一日一日を大切に生きようと思、います。また、何十年、何百年た、ても絶対に忘れてはいけないと思、います。また私、か、授業を受けたことを生かしてみんなにも伝えられたらいいなと思、います。また原爆が7000°、太陽が6000°としたら、そうとが、あつなと思、います。また原爆で亡くなるリスクは、5人中2人が亡くな、てしまいます。だからみんな「命を大切に生きてほしい」と思、います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

僕は原爆にかんしては、国語で習ったくらいだったので、そんなに詳しくは知りませんでした。でも今日原爆先生の授業をして原爆がよりもよおそろいものだということが分かりました。7000°という高熱は、太陽以上のものだとして原爆は太陽以上のもので人を溶かしてしまうおそろいものだということが分かりました。実際に受けた人がいるから、みんなにも原爆はおそろいのだし、思いました。原爆資料館に行き実際に体験した人が人のひらが溶けている模型を見て、こんなに美しくはないと言っていたので僕はその言葉に対して糸内得しました。なぜならその人は実際のひらがはがれた人を見たからです。その人はもっともっと大きな思いをしたのかも知れないからです。僕はこの授業を受けて、もう原爆は落ちてほしくないし、こういうひげきは、二度としてほしくないと思いました。今、ロシアとウクライナでは単独争をしようとしています。単独争をしたら多くの人の命がなくなってしまうので、やめて



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は、今日、原爆先生の授業を受けて、初めて知、  
たこと、また、おどろいたことがたくさんあった。原  
爆で、広島市人口は35万人、被爆者数は  
24万人、死者数が14万人だということ  
を知って、死亡率が40%、5人に  
2人が死んでしまうことにびっくりした。また、  
原子爆弾投下都市の条件で、「1.直径  
5kmを越える、2.平野であること、3.空襲  
がなかった」という大きな条件があることを初  
めて知ることになった。最初は、お母さんが  
原爆にくわしく、大まかなことはおしえてもらい、  
原爆のこわさを知ったけど、今回の授業で、知ら  
なかったことも、細かく知ることになった。私は、話  
を聞いていて、あらためて原爆がこわいなと思  
ったし、話を聞いているだけでこわかったけど、実  
際に体験して、焼け死んでいく人を見たこと  
がある人は、私よりもこわい思いをしてきたんた  
なと考えた。それから私は、今日の授業が原  
爆にこわさをわすれられないようにしたいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

10/11

僕は原爆先生の授業のおかげで  
 が2つあります。1つ目は、爆発時の温度  
 では原爆がきつこうした時に200mも  
 広がって中心は100万℃外は7000℃になって  
 その下は3000℃というもう一つは熱さで  
 太陽の外側は6000℃であつたり原爆は  
 あの太陽よりも熱いことがあかいます  
 原爆の下の温度は3000℃で鉄は約1500℃  
 でとけるので町の全部がほぼとろけて  
 2つ目は被害です。原爆が落とされた  
 ときは広島市には35万人でした。落とされ  
 て（爆発した時には被爆者数が24万人  
 と人口の70%で死者数は14万人と40%  
 であつたり人口の5人に2人は死んでいる  
 戦争で原爆が落とされているので  
 ロシアとウクライナは戦争をやめて他  
 の国と仲よくして戦争のない世の中  
 になつてほしいなと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は原爆先生の授業をうけてとてもよかったと思いま  
した。5人に2人が「せくな」っていると聞いて原爆のい  
かが「すごい」ことに気がつきました。今ロシアとウクライ  
ナが戦争をしています。今まではニュースを見て「わい  
た」「なんでなんだろ」としか思っていました。でも今  
度も今回授業をうけて考え方が変わりました。また私  
は生まれていない時におきたことなのであまり  
分かりませんでした。原爆がおちてたくさんの方が死  
者が出たということは知っていましたが、せくなは  
ないけど「大きなやけ」のあとが「残った」助けよう  
として手をしたら「ふ」が「はか」れてトラウマになっ  
たりしていました。聞いていたとき「わい」とか「な  
んでこんなことを話すんだろう」と思っていました。全  
部話した後「わい」から忘れてはいけないことだから  
「わい」話したんだと分かりました。エラ・ゲイという  
名前をつけるのは変だと思いました。なぜならわ  
い「わい」自分のお母さんの名前とまったく同じ名前を  
つけているからです。せめて「わい」変えれば「わい」  
「わい」変えれば「わい」いいのだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は、原爆先生の「皮がずるりとむけて…」という言葉で、手が少しふるえました。頭の中でトラックの音の自分と「助けて…」とさけぶ人には見えなくなってしまう者たち。そのような場面が頭にうかびました。21才で呼ばれるはずなのに、わずか17才で、死体をおぶって、何kmも歩いて、死体を焼いた経験が私にあったら、どうだろうと考えました。それでも、原爆の恐ろしさを伝えてきた義三さんたちは、とても立派でした。

また、私が被爆者なら、そして、人だけ、家族も友人もみんな死んでしまって、私一人になってしまったら、どんなに恐ろしい出来事なのだろうかと考えました。周りには焼けてドロドロになった人の海。私は義三さんのようにたくましく生きることができないと思います。今、ロシアがウクライナにはばくだんを落とすかおそれない。そうすると、ウクライナがこんな悲劇に合うことになる。原爆先生の話を聞き、そして義三さんのビデオを見て、私は改めて原爆やばくだんを落とすのを、やめてほしいと思った。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

初めは、原子爆弾についてあまり戻らず、とても  
おそろしい物 なんだらうなーとしか思っていま  
か、たゞす。しかし実際に話を聞いて、手  
がなした、たり、すみだげになつた人の話を  
聞いた時には、とてもぞくとして、おそろしかた  
です。しかも原爆は、とても力が強く、人々を  
殺すことが出来る道真でもあります。今は、こ  
の工ノラ・ゲイに乗って原爆を落とされた人の  
ことを、悪だとは思えません。なぜならそれによつて  
日本とアメリカなどの太平洋戦争・大東亜戦争  
が終つたことは事実だし、そもそも日本  
が先にアメリカのハワイへ攻撃をしたの  
だから、先に手を出した日本の自業自得  
であると言へると思つたからです。しかし、今  
はロシアとウクライナとの間で戦争があつたり  
して、それはとてもこわいのです。日本は世界  
で一つの被爆国であるため、そうした戦争  
での核の使用禁止などをこれから  
も世界に呼びかけたいかまだと思つた。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は原爆先生の特別授業を受講して原爆はとてもおそろしいものなんだなと思いました。原爆の音を再現したり、兵隊の人に助けを求めている人々の声を再現した声を聞いて、原爆はとてもおそろしいと感じました。

また、人々が助けを求めているにもかかわらず泣いていると言っていて私はまたこんなひどいことになってほしくないなと思いました。

「エノラ・ゲイ」という名前を自分の母親の名前からとっていると聞いて名前を付けた人はひどい人だなと思いました。

そして、今ウクライナとロシアの戦争で、ロシアが原爆と同等の爆弾をウクライナに発射してほしくないなと思いました。また、これ以上被爆国を増やしてほしくないなと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

ぼくは、原爆のことをおしえてもらいました。そして、  
 原爆のことがおかしかったです。一日は、火の海  
 になっちゃったことですよ。原爆で、火の海にな  
 っちゃって、物が「もろくなり、ざっと壊れて、  
 小さな窓ガラスの破片などもとんできて、  
 目にささったり、きずになったことですよ。一日  
 は、やけどで、肉が焼きたりしたこと。そのせ  
 いで、たすけようと、手を出して、フグンでも、肉  
 がぼとぼとおちてしまうことですよ。そのせ  
 いで、人でないような顔になったり、男か女が  
 も見分けがつかないのよ、あつと思いま  
 した。三日は、じ虫が傷から中に入り、  
 はんにくすることですよ。そのせいで、傷は、帯が  
 くらつて、とれなくなりました。ぼくは、  
 原爆のことを聞いたので、また、こんなと  
 ことがおこらないように、自分でも、若くは、  
 ね、原爆のことを少しでも知って  
 もらえるように、自分でも、家族に、話して、  
 家族が、いかに、思っているのか、話を聞かされた。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私はこの原爆先生の授業を受けて、どれだけ  
 苦しい事だったのかをあらためて実感しました。  
 国語の授業で少しだけ実際の物を写真で  
 見たけれど、実際に体験した人の声でその時  
 の様子をしてこんなものとは比にならないぐ  
 らいにおどろく話をたくさん聞きました。ホロホ  
 ロとけがれていくひふや、せくなっている人を背  
 おっている時の気持ちなど、私達はおそらく分  
 かりません。けれども、話を聞いていて、まだ生き  
 ている人を背おった時の温かさなどドラムカン  
 の影になつてのがれた話で、助かったことおすか  
 の人は、せくなつた人を見れなかつたでしょう。そ  
 れでも助けに行く人はすごいと思いました。また、太  
 陽より熱い物が上からこめてくるなど、心たん  
 生活していて、全く考えられませんでした。そして、資料  
 館などの実際の人に似せた人形ですえ、気  
 味が悪いと思うと思うけれど、本当はこれよりも  
 っとひどいような状態にいるのにもおどろきました。  
 実際に体験した人が、せくなつてほうのでこの事を忘れずに覚えて  
 いておいてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

19/11

私は5年生のときに国語で「さがしています」という文章を使い、学習しました。その文章も戦争について深く考えさせられるような文章でしたが、今回原爆先生の特別授業を受講してさらに戦争がこわいと思いました。

今、ロシアがウクライナに攻めています。日本で70年程前に原子爆弾が落とされ、多くの方が死亡したのにも関わらずまだ戦争をしていることが信じられません。早く戦争が終わってほしいと思っています。

また、地面が3000℃になったにおどろきました。しかし、せつかく助かっても炎のうずなどにまきこまれて死んでしまった人がいることを知って原子爆弾は落とされた直後ではなくても人間に大きな影響を与えたことが分かりました。

今回の授業を聞いて戦争はもう二度と引き起こしてはいけないと思います。そのためには日本国憲法に書かれている平和主義を意識して生きていくことが重要だと考えました。また、日本の国民だけではなく他の国に住んでいる人たちも平和主義を守っていくことが大切だと思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

爆発した後の丸のものが太陽より熱い  
ということにおどろいた。

そして原爆のしゅうけき波の速さが毎秒440m  
ということは、爆発してからにがてもまき込ま  
れるということだと思ふ。現在の日本ではあま  
り戦争をしないからミサイルなどいそいでなか  
たけど昔は日本はたこ戦争をしていたそうであ  
らうので戦争は大変だと思ふ。なぜ爆弾を  
打ったのかは分からぬけれど戦争が爆弾を  
打つのをやめてほしい。

今でいえばウクライナがやられているけどもうた  
だウクライナがもっているというニュースを見ま  
した。

そしてもし今、日本で戦争が起これば日本が  
なくなるかもしれないです。

なのでもう二度と爆弾を打たない戦争をし  
ないでほしいです。



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

ぼくは、特別授業を受講して原爆のおそろしさを知りました。例えば太陽よりも熱い、原爆がせまってくるのは想像するものすごくさんざんよこしたなと思いました。また爆心直下で、真上から熱線や、衝撃波がきて、いっしょで、人々が死んでいきまたり、全身にやけどをおって、ひきがドロドロになってしまふと言っていて、原爆のおそろしさを知るまでがてまきました。

ぼくは、今世界で、ロシアがウクライナをこうげきしているのが問題になって、かえを使うかもしれない、とうあきられているから、ロシアには、日本の原爆の話を知ってもらいたいし、ウクライナが、日本の原爆みたいになつてほしくないから、かえは使あないで、もらいたいなと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は、今回原火暴のおそろしさを感じました。いつも、日本の歴史マンガで、原子火暴発については、少し学びました。今回の特別授業を受講すると、体験した人とは、体験してない人では、内容に差がありました。私は、とくにおそろしいと思、たのは、原火暴の熱です。原火暴の熱では、17000℃もあるということを知り、太陽よりもあついことを知り、こんな火暴が、おそろしくおそろしくあついたらどうなるんだろうという、きょうふを感じました。この特別授業では、原火暴のおそろしさを感じました。今の日本は、平和ですが、世界では今、ウクライナvsロシアが戦争をしています。そのロシアが原火暴を使うといううわさも聞き、原火暴には、熱線などおそろしいものがかつめていきます。私は、今回、原火暴のおそろしさを学びました。このおそろしさは、自分は体験していませんが、この授業で学んだので、この学んだことを、わかってむかひに体したくなりを感じました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は、広島や長崎に原爆が投下されて多くの人が犠牲になつたことは知っていましたが、原爆がどのような被害をもたらしたのか、などのくわしいことは知りませんでした。ちょうど10月9日、塾のテストの国語で原爆を題材にした物語文が出題されました。その文に「エラ・ゲム」という爆撃機の名前などが出てきて少し原爆に興味を持ったところでした。この物語文は、日本から見た原爆投下とアメリカから見た原爆投下の違いについて日本人の男の子とアメリカ人の男の子が会話している、という内容でした。この文と今日の原爆授業をいっしょに、私は「たとえ戦争を終わらせるためだとしても、原爆などの戦力を用いてはいけません。」と改めて思いました。物語でアメリカ人の男の子は、「原爆投下で戦争が終わったのは事実だけど、僕は原爆投下した人たちをヒーローとは思わない。」と言っていました。テスト中もこの言葉に賛成していましたが今日授業を受けたことでさらに強く「その通りだな。」と思うようになりました。今のロシアとウクライナの戦争は絶対におかしいと思います。ロシアは国際連合の常任理事国なのに進んで戦争を行っているので絶対に原爆投下はいけません。

思いました。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

僕が原爆の授業を受講して心に残った  
 ことが3つあります。1つ目は原爆について  
 原爆が落ちてきて、ぐにしょうげき波が来て  
 うき飛ばされたあと熱風がふいて大けど  
 を皮膚がジワジワになり生きているのが、生きて  
 ないのが分からないくらいになっていたのが  
 頭に浮かびあがりました。また、手をさし伸  
 べても持ち上げるともろくな皮膚がはがれ  
 落ちていく姿がっつというこが分かりました。  
 2つ目は、自分で体験したこと話していたこと  
 こそ原爆が強い、い力を持って町をばか  
 されたり、皮膚がはがれたいするなど、色々なことを  
 話しなみたを流していたこと心に残りました。  
 3つ目は死亡率でも死亡率はなんと40%  
 で、死者数が14万人で、被爆者数が24万人  
 ということになってしまいました。しかも死者数の  
 2万人が原爆が落ちてきてぐに死んでし  
 ましたというので、40%は5人に2人の確率  
 で、死んでしまったということが心に残りました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

僕は今日原爆のことについて知りました。落さした原爆の名前や威力怖ろしさを知りました。原爆は僕達の何げない日常に容赦なく襲い掛かり全てを石皮壊します。それを僕達は言葉だけでしか知りませんでした。けどこの授業を受け実体験した人からそれを聞いた人から聞きそのときの人々が田舎の様子を知りとても心が痛めつけられました。今は平和にならている広島ですがなぜ平和公園を作ったり原爆ドームを残したのかそれは自分達の子供が子孫に伝え平和に暮らすの願い、そのものだと感じます。原爆によ、て14万人という数多くの人々が亡くなりその中の2万人の人達は一瞬で黒いしみになりそうだが、大人達は皮膚がズルズルになりたり体中真赤になり苦しんでいたと聞きました。そんな人達のためにもかえって生き平和に暮らしてほしいと強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

10/11

私は、今回の特別授業を受けて、今まで想像のつかなかった被爆者の姿や被爆した時の様子が頭に浮かびました。

実際に被爆した方のお話を聞いて、今まで聞いたことのある原爆の話がよりリアルに感じられました。私は広島県や長崎県に行ったことはなく、原爆が投下されたこともあまり事実のこのように思うことができませんでした。ですが、今回写真を見ながら、この時人々はどのような思いをしていたのか想像することができました。きっと本当は話で聞いたことより恐ろしく、残酷だったのだと思いますが、それでも原爆の恐ろしさや、被爆した広島がどのように変わってしまったのか、知ることができて良かったです。

原爆の恐ろしさとして、「放射線」がありました。私は「放射線」と聞いて思い浮かぶのは、東日本大震災のことです。福島第一原子力発電所の原発事故で多くの人が避難をしました。今もまだ戻れない地域もあります。また、今ロシアとウクライナの戦争で核兵器が使われる可能性もあるそうです。もう二度と放射能などの事故を含め、核兵器などが使用されないようにしてほしいです。

今日の授業を終えて、私は原爆の恐ろしさを改めて知った上で、今回新しく知ったことを忘れないようにしたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私が特別授業を受けて、学んだことは二つあります。  
一つ目は、原爆を落とす所は京都が多かったことです。  
私は、広島だけにしか原爆が落ちていたのだと思っ  
ていたけれど、他の県でもあったことを知り、おどろき  
ました。また、京都がねらわれた理由が、「平野予である  
ことや、空襲がなかった所」だということを知り、こわ  
いなと思いました。

二つ目は、原爆を落とされると、5人に2人が死んでしま  
うことです。原爆は、急いでにげても熱風などが来て、  
死んでしまうこともあるから、昔の人達は、きょうふ、でし  
かなかったということが舌を聞いてよく分かりました。

私は、特別授業を受けて、この二つ以外にもたくさん  
知らなかつたことを知ることができました。また、今ウ  
クライナとロシアの戦争で、たくさんの死者が出ているのに、  
さらに原爆を落とされたら、もっと死者が多くなってし  
まうので、争いをやめてほしいと思いました。また、原爆  
一回だけでも落とすだけで、14万人もの人達が亡  
なってしまうということを考えると、ものすごくこわ  
い物だということがよく分かりました。



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して原爆  
というものはとてもこわいなと思いました。一しゅんで  
全てががれきの山になってしまうのがすくおそろしいと  
思いました。また、広島と小倉、長崎が最終候補に  
なつたけれど、横浜は東京に近いからこわいな  
と思いました。また、今もしも原爆がと下されても想  
像できないです。なので戦争がおきてほしくな  
いし、戦争はぜつたいにだめ、どんな時もみんな  
が思つてほしいです。

また、福島<sup>フクシマ</sup>の原発で放射能がたふさんでして  
まっているのて、原爆と似たようなことになつてしまつて  
いるから入れないのがなと思つました。また、原発  
もこつういふことがあつて危ないのてやめてほ  
しいです。

今、ウクライナとロシアで戦争が起つています。  
原爆を使えばおそろしいことになるし、昔よりも  
強力になつていると思つるので、ぜつたいに使  
わないでほしいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の特別授業を受け、原爆のおそろしさを初めて知りました。今までに何とも原爆についてニュースなどで見ていたため、原爆について自分の中では怖いものなんだなと分かっていたつもりでした。しかし、実際は「怖い」の一言ですまされるようなものではありません。原爆先生による今にも目の前に現れそうな程のおそろしく、現実的なお話に思わず目をつぶってしまいたくなりました。そして、本物そくりのやけどや傷だらけの人形を見た池田さんがきれいすぎる」と言ったその一言、それだけで原爆のときのおそろしさおそまじさが分かります。また昔私はある原爆の本を読んだとき、のことが頭にうかびました。そのおびただしい絵と内容を見て怖かったものの、今の日本にこんなことはおこらないし、と内心自分とは関係ないと思ってしまう。けれども最近では、ロシアがウクライナを打とうとしています。もう、今の私達と関係ないとはいえません。もし打ってしまえば、昔の広島や長崎と同じ光景がまたよみがえるかもしれません。そのためにも、外国に原爆のおそろしさを原爆先生のように伝えていきたいです。そして最近となては被爆者の方と会うきっかけがほとんどないので私達自身が後世に伝えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

今日の特別授業を受けて学んだことは、原爆の悲惨さについてです。

原爆を受けた人のひらがやが焼けたたり、熱さにたえきれず死んでしまった人、頭上から熱をうけていっしょに消えてしまった人など、たくさんの方が被爆者となり、そして多くの方が死んでしまったことを知りました。死亡率が40%で、広島市の方が5人に2人死んでしまったという事実にはおどろきました。

また、上空は太陽よりも熱い7000℃でその中心部は100万℃という太陽の何十倍も熱い温度、そして地上でも3000℃ととても温度が高かったです。そんな中、その場所にいた人はとても苦しい思いをしたのだと思います。

私は、原爆ドームには行ったことはありませんが、話を聞いたことで原爆の大変さが伝わりました。そして苦しんだり痛かった思いをした人はかわいそうだし、苦しめた思いが伝わってきました。このようなことが二度となくなつてほしいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回の授業で原爆の熱さが外側でも7000℃までにもなるということを知り、実際にいたらものすごく熱くて生きていられないと思ひ、想像するのもこわかったです。今、30度を超えると熱いと言っているのに原爆当時にはその約100倍もの熱さにたえながら生きようとしていた事の苦勞や大変さがより身近に感じられました。また、広島県内の死亡率が40%にもものぼるほどのい力をもっているということにおどろきました。爆心地以外の遠い場所まで放射能が広がっているい力のある人類にして使てはならない武器なのだと再認識できました。私は原爆ドームに行ったことがないですが、悲さんなものがあるということは聞いたことがありました。しかし、当時者にしてはもっと悲さんな光景だったので、一度原爆ドームに行、た際にはこれで分かったと分かったと終わらせないでも、と考えをふくらませたいと思ひました。そして、母や父にこの授業のを伝えたいです。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業をうけて、当時のつらさや悲しさが想像できてとても怖いと思いました。トラックをまっていた時におこった、熱風で10メートルほど飛ばされたり助けて...といいながらトラックに乗ってくる人の手をつかんだらひふがとれたり。想像しただけで怖かったです。けれど、今日の話を聞いて原爆の時の悲かな思いをした人の気持ちがよく分かりました。さらに、義三さんが人々を救おうとするすかたもすごいと思いました。たとえば、ひふがとれてもたすけようとしたり、女性の体に入りこんでいたうじ虫を取ろうとしたりするところが人思いで正義感があると思いました。

また、条件があるということを知ったので、東京はど  
うなのかなと考えられました。

私が、もし当時の広島にいたらどうなっていたかを  
考えたらさらにゾクゾクしました。ですがゾクゾクす  
る話を聞いて想像しやすくなりました。

今日は、早宮小に来てくださってありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、原爆の授業をしていただき、ありがとうございました。

この授業で、改めて原爆の怖さを知り、たくさんの方が悲しんだ、ということを感じました。

とても、大人数の方が亡くなり、たくさんの方が今も苦しんでいるんだ、と考えるとこのようなことは、あてはならないことだと思いました。

今後、このようなことが起きないために、起こさないために、私たちは今回の授業で学んだことを多くの人に伝えなければならぬんだ、と考えました。原爆の怖さを伝えるのではなく、原爆の怖さと原爆を体験した方々の声を聞くことが必要だと思いました。広島、長崎に落ちた原爆でたくさんのお物をうばわれた人たちがいる、というのは変わらないけれど、これからどうするのか、何をすればいいのか、ということはまだ変えられるということにも気が付きました。だから、これからが、より良くなるようにしていきたいです。

今日はおこしいいただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、私は、この悲惨な出来事は二度とあってはいけないなと思いました。私は、原爆、核は、なんとなくすごい爆発物なんだなというイメージしかありませんでした。そこで、原爆先生の話を聞いて、太陽が地上600mまで近づいたかんに衝撃波は音速よりも速い、死亡率は40%など聞いて、原爆の恐ろしさを知りました。その中で死体をすべて焼きつくす、という話が心に残りました。身元の確認をする余裕もなく、死んだ方は数だけありませんでした。ですが1人1人には人生があります。それを一瞬で吸き飛ばす原爆は改めて二度とあってはいけないなと思いました。なので、今、ロシアが核をちらつかせているのは絶対におかしいなと思いました。また核だけでなく、ミサイルなどは、打つ、作ることは断じていけないなと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は今日、原爆先生の授業を受けて、特に、温度が心に残りました。原爆の温度が太陽の表面温度より熱いということがとてもおどろきました。近くにいた人は黒こげになり、大やけどといえないほどのやけどを負った人の気持ちを考えて、自分がそうなったらこわいなと思いました。また、このような被爆者のみならず、兵隊の人たちも、とてもつらく、苦しい思いをしたということが今日、とても実感しました。

原爆だけでなく、原爆風や放射線をあびて被害を受けるのも、とてもこわいと思いました。また、一度原爆を体験した人は、一生その傷を負わなければなりません。それも、苦しかったと思います。

この事実は、これからも忘れてはいけないことだと思います。これからの世代にも、この事実を伝えてゆき、このような機会があるといいなと思います。今日はありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

私は、この授業を聞いて、原爆はとてもおそろしい、こわいものなんだなと思いました。広島や長崎に原爆を落としたのはなんでだろうという疑問があります。もし、私がその時にいて、そこにいたと考えたら、こわい思いしかないです。今、ロシアとウクライナが戦争をしています。そこで、どちらかの国が相手の国に爆弾や、ミサイルを打つかもせれません。今は、この原爆を落とした時より、技術が発達しているので、もっと死者が出てしまうんじゃないかと考えています。

私は原爆の表面温度が太陽の表面温度、6000℃より熱いということにびっくりしました。また、モニターで見た、原爆資料館の中にある人の人形の展示です。もし私が原爆に巻き込まれていたら、こんな感じになっていたんだと想像するとぞっとします。昔は原爆以外にもすごい戦争があります。戦争以外にも自然災害があります。私は戦争などがおきていない世界で健康でいられることに感謝しないなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/11

ぼくが印象に残ったことは、三つあります。

一つ目は温度についてです。もともと、熱いということだけ知っていて、詳しいことは知らなかったけど、太陽以上に熱いのは想像以上でした。また、それを受けた方は辛く、苦しい思いをしたことを心にとどめていたいと思いました。

二つ目は亡くなられた方々の人数です。何十万人といった市に原爆が落とされ、40%の14万人近くが亡くなられたのは恐しいです。

三つ目は候補になった都市についてです。なぜなら、横浜など東京と近いところに落とされていたかもしれないからです。

それは自分が生きていなくとももしかしたら生まれてこれなかったかもしれない当たりなくてよかった、ではなく、被爆された方のことを考えるべきだと思いました。

そして、戦争、原爆による被害もこれからあるかもしれないので心にとめておこうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今まで原爆の時のことを深く考えてきませんでした。テストに出るから覚える、ただ、それを思い、頭にいかに入りました。たくさんの罪のない人々が痛み、苦しみ、あかきながら息絶えていった、まるで現実のように思えない、悲しいできごと。自分には関係のないこと、そんな風に捉えていました。ですが原爆先生の特別授業の最後のVTR。わずか17・18分でこのおこいできごとを体験した池田義三さんの話には、1つ1つの言葉に重みがあり私の心の底にしずんでゆく感覚がありました。このできごとを残した池田さんの小説は、この様な人劇が二度と起こらなうほしい、この様な思いが湧いていると私は考えます。また、この様に残されたものがある以上、これは私たちに関係のないできごとではなく、また、私たちに様々な人々の苦痛を考えると二度と起こらなうようにしていかなければならないと考えます。また、世界中の人達がこのような理不尽な死に悲しむことのない世の中にな、てほしいと、心の底から願います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

19/11

ぼくがこの特別授業を受けて思ったことは、原爆の本当の恐ろしさです。

今まで、広島や長崎の被爆については、教科書で見たり、人から軽く聞いたただだったので、「大変だ、たんだな」ぐらいにしか思っていませんでした。しかし、ぼくが教科書で見た日本全体の話だけでなく、そこにやうといた人々の思ったことや、やけどなどのけが、衝撃波の強さなど国民の姿も知ることができました。

このような貴重な体験をさせてくださり、また、思い出すのも辛いような出来事を真剣に語ってくださり、本当にありがとうございました。

今日の体験で学んだことから、被爆者の方々の思いや、その方々の努力により、現代の社会が成り立っているんだということを感じ、二度とこのようなことが起きないことを願っています。

わざわざ早宮小で教えてくださり、本当にありがとうございました。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日のお話で原爆のおそろしさを実感しました。私は原子爆弾のいかに、またその被害の大きさに、おどろきました。爆弾が爆発した表面温度は7000℃、600m下の地面でも3000℃というのは、太陽の表面温度は6000℃で地球とは何万kmもはなれ、夏の暑い時季でも気温は40℃という現在とはくらべものにならないほどの状態だったと思います。また、爆心地の近くには人はすぐに消えてしまったのであまり苦しくなかったとしても、爆心地から2kmぐらいの人々は死んだ方がいかに苦しかったかと思うと、原子爆弾はこの世にあってはならないものです。私は原爆資料館に行ったことがあります。でも実際はそれと比べものにならないほどひどい状態だったなら、想像したくなくなります。しかし、今ロシアが核兵器を使うという話があります。お話を聞いたような出来事がもう一度起きるのは絶対にいけないことだと、改めて感じました。今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の授業を受けて、当時の広島の人たちの苦しみやつらさをよく知ることができました。第二次世界大戦のことや、1945年に広島・長崎に原爆が投下されたということは以前から知っていましたが、あまりくわしいことはよく知りませんでした。けれど実際は想像していたものよりもとても無惨で、原爆先生の話を聞いているだけでとてもつらい気持ちになりました。原爆の温度が $7000^{\circ}\text{C}$ で太陽の温度よりも高いということも知りませんでした。

太陽と自分との距離が600mしかないという状況を想像すると、とてもぞ、としました。

被爆して、すぐに亡くなってしまった人もいれば、原爆症により、今もなお苦しんでいる人もいますので、原爆というものはとてもおそろいなと思います。現在もウクライナやロシアで戦争がおこっているけれど、原爆が投下されて、人々が苦しむことがないことを願います。誰も苦しまない、平和な世界になればいいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこの授業を受け今後、このようなことが無いようにしたいと思いました。

原爆が広島長崎に投下されたという事実は知っていましたが今回ほど、その恐ろしさや非惨さ、被害者の存在を身をもって感じられる機会はとても貴重だと思います。授業の前半で原爆を実際に体験した、陸軍の義三さんのその時の様子を体感しました。原爆先生のリアルな原爆の爆発の音や、語り)の上手さも、リアル感を演出しています。

皮が焼けおちた重しょうの人や熱風でーしゅんにして亡くなった人など、たくさんの被害者を手当てしたり死体を背負ったりなど、陸軍としてもつらい経験をした人がいたこと、何の罪もない人が何万人も亡くなったことなどを痛感しました。今と

今世界で残酷な争いがおこっている国があります。原子爆弾の被害を受けた日本だからこそ、防ぐことができることもあると思うので、二度とこの間違いがおこらないよう私もしょう来行動に移していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して元から、原爆のことは天から来たけど落ちて爆発したときの温度や熱線、衝撃波、放射線が全然知らなかった。なので、原爆先生の話しを聞いて原爆はすごいなと思いました。一つだけの爆弾で何万人も人を殺して、建物も一瞬で壊れて、熱線などで人にやけどなど、衝撃波など一つだけの爆弾でこのようなことをしているのかと思いました。

そして、原爆先生の話しを聞いて本当にびっくりして、原爆で死んだ人がかわいそうと思いました。

原爆が起きたときのことや熱線など、どこで爆発したのかもかたちなどをいろいろ詳しく教えてありがとうございます。そのおかげで、原爆のことについていろいろ知りました。原爆についていろいろ詳しく教えてありがとうございます。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、「原爆先生の特別授業」を受けて、原爆  
 のおそろしさを感じました。こんなにおい物が、時  
 速約300kmで落ちてきて、一人に(て)しかない  
 命せうは、ていふまでよけられる術がないと思つた  
 。今にも原爆が落ちてくるんじゃないかと不安になるほ  
 どおそろしい話を聞いていて、被爆者はまじ  
 苦ろしかたたら、こおたたら、痛たか、たたらと  
 思い、原爆が落ちた時落ちてなければ、楽しいこと  
 、命が生まれることかたたらたたら、苦しむ今も平  
 和に生きている人がいたかもしれないと思つた、忘れ  
 ないとなのがよく分かりました。中心は100℃、外は  
 7000℃、近くの戸外は3000℃ほどにもなり、はげしい  
 衝撃がまじり、火がまある。そんなおそろしい原爆  
 は、もうじきも使わなくて済む被害を受けないほ  
 しいなと思ひました。この授業を受けて、原爆  
 のおそろしさを感じました。もっといろいろな  
 このことを伝え、いまでも、いつまでも忘れ  
 られられない、忘れないように語りかた  
 「つてほしいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆について話してくれてありがとうございました。ぼくは、いろいろなことをよく知りました。

これは、体がやけど手を動かさないうで歩いてきた人でも、人はやけど手が動かないで歩いたほうが...にびっくりしました。たしかに手を動かして歩くと痛くならないということに不思議だなと思いました。

27日は、原爆をけいけんしている人の話の動画をみました。ぼくは、その人の話をきいて、ほんとうに被害にあった人はつらい思いをしていったんだなと思いました。死者数が14万人も...ととてもかわいいなと思いました。本当はけいけんしている人は、だくががた人がなと思います。原爆をいげたなと思います。ぼくは、これから被害者をなくして精魂をすごしたいし、外国の木炭を持っていく人と関係断ちたいなと思います。とても良い体験ができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日はぼくたちのために早稲小に来て原爆  
について教えてくれてありがとうございます。  
ぼくはこの授業を受けて原爆をう  
けたつらさについて学びました。こゝな  
原爆を知る前は、原爆について何も  
思っていませんでした。でも原爆先生  
がいったように、広島で原爆で、はた  
た多くの人が命を落とし、多くの人が苦しみをあ  
いあっていました。だから今後このような  
事がないうらにと思っています。そして今日  
学んだ原爆について話しを聞いてい  
ない1234、5年生のみんなに原爆について伝  
えています。

一つに返ったところがあります。義三さんが  
みんなのために、種かく所がかつてい  
ました。原爆が落ちた後で、みんなを  
はこわす"だけど、みんなで火を  
してまか"と思はした。今日学んだこと  
をかき、原爆についてもっと知り、



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

(ぼくは今回の授業をして原爆の二枚を  
 しました。原爆が落とされたのはぼくが生まれ  
 ていないころでした。前回の授業では原爆の授業  
 をやりましたがその時はあまり原爆のおそろし  
 さを知りませんでした。けれど今回の授業を受け改  
 めて原爆の二枚について知ることができました  
 た。第二次世界大戦で原爆は使われたと  
 知れた。今後もしかしたら原爆が落ちる可能  
 性は無いので今後そういうことを考えな  
 から生きていきます。今ロシアがウクライナ  
 にしんこうをしていきます。ロシアが原爆を  
 使用する可能性はあるので心配です。  
 (ぼくは今回の授業を受けて原爆は存  
 在してはしれない兵器だと思えた。  
 およそ7000°の熱などは太陽と同じぐらいな  
 のでこおれと思えた。  
 死亡率40%なのでこおれと思いま  
 した。もう二度と原爆が投下されな  
 いといいと思いました。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは広島出身で、原爆のことを少しして  
いました。だけど、原爆資料館の人の人形で  
もとてもよかったのに「きれいすぎ」といっていたの  
かとてもおもしろく、義三さんはよかったのだらう  
なと感じました。

ぼくは、原爆が原爆でなくなってしまう人  
を見たことがありません。なのに、話をしてし  
れただけで、原爆はぜんぜんにわかるたさ  
ぐさというのがすごく人知ってました。ぼく  
はなにもしないけれど、次に原爆をつくら  
人はいらないでほしいといっています。それ  
は原爆にもたちあがいて、遺体をやま生  
きていてほろほろの人をたすけたりする  
平塚さんたちはかっとして、命がまるとは思  
いました。

いま、ウクライナとロシアが戦争を起しています。  
ロシアが「ウクライナ」をつかおうとしています。  
かをつかおうとしないために、もはやぼくができる  
ことをして、かをつかおうとしないようにしようと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今日90分も原爆の授業を受けて  
ます。やはり恐ろしい、そして悲しさを最後まで  
に感じました。

原爆は太陽よりも熱くとにかく熱風、衝撃  
、放射線」の怖ろしい感じが広がりに広がりました。  
広島市の住民の大半が「死」をせよとなった理由がよ  
く分かりました。そこで今日原爆先生が言った  
主人公「よしろう」をすごいと思いました。戦争  
中、最中の中けがやせなくなった人々を必  
死で助けようとしてぼくにはとてつもない  
はありませんでした。「原爆は怖いな」と改  
めて感じました。

昔の人々は命おかしなくとをこころしあ  
う。今ぼくたちがいつかに生活していることがどれだけ  
幸せなのかが実感しました。また原爆トーム  
のように今と昔の差がわかるものもある、悲くなる  
かもしれないけど、ぜひ行ってみたいと思  
いました。本当に昔必死に単独で生きようとした  
人たちに感謝を感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくのひい祖母も戦争を経験しました。被爆者ではないものの戦争の恐ろしさは少なからず理解できてはいると思っております。(お祖母様)  
しかし、原爆の怖さは漫画や記念館、靖国神社で見ました。ですが、父は原爆で亡くなった方の写真は見えないと言われました。きっと理解できないからだと思います。

原爆先生の授業は決して簡単に説明しようとしていません。ぼくたちにも理解できるように表現してくれて分かりやすく「教えて」くれましたと思います。

原爆がどれ程のものなのか。

原爆先生の授業のビデオで記念館の人形が「甲し付る」というのが心に残りました。その一言で想像がつかまりました。原爆を広島で受けた被爆者こそ恐ろしいから分かるから関心がたつ原爆先生の授業にたいしては